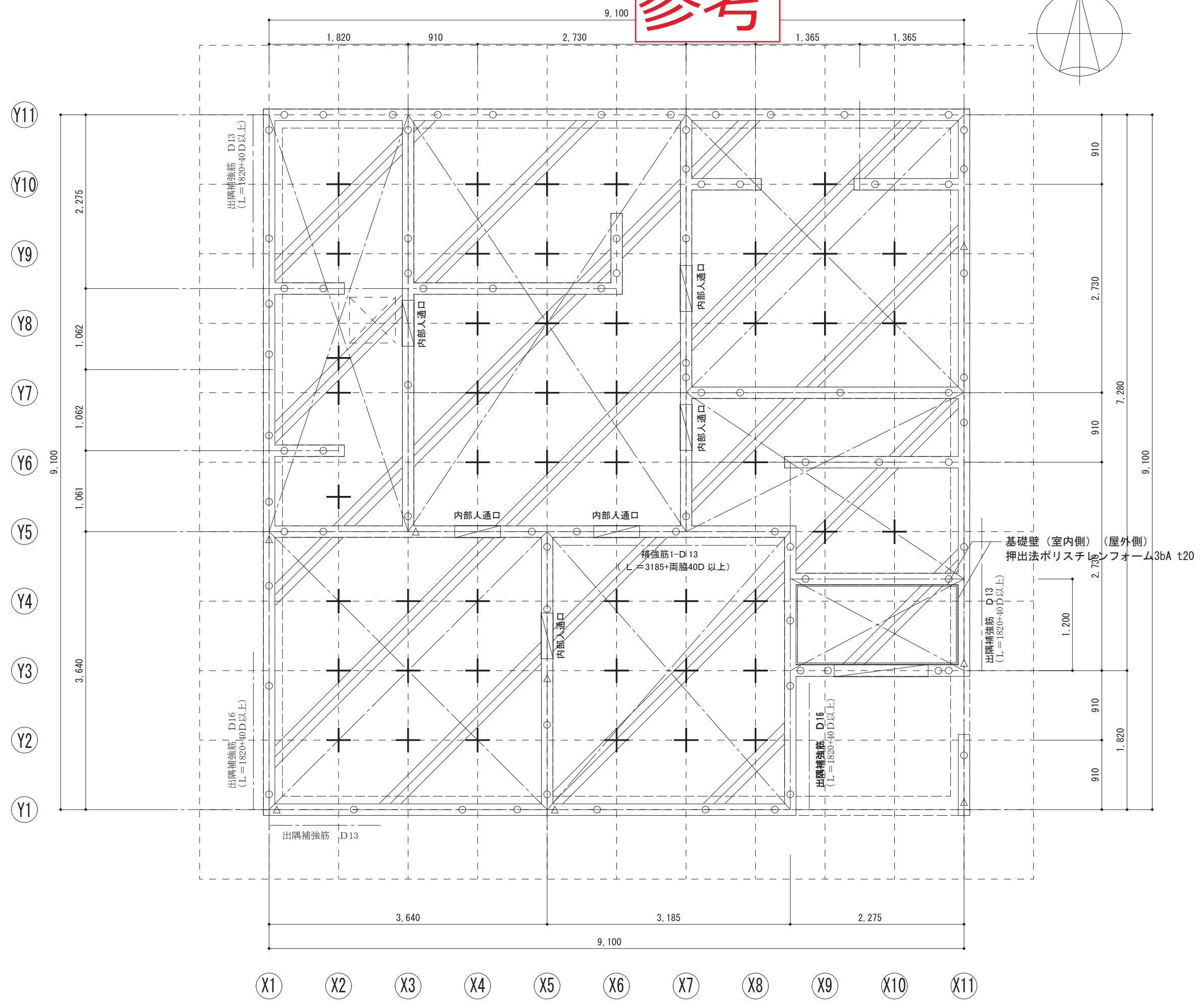
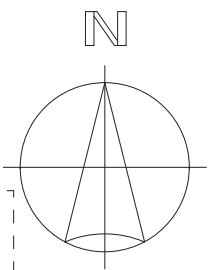


参考



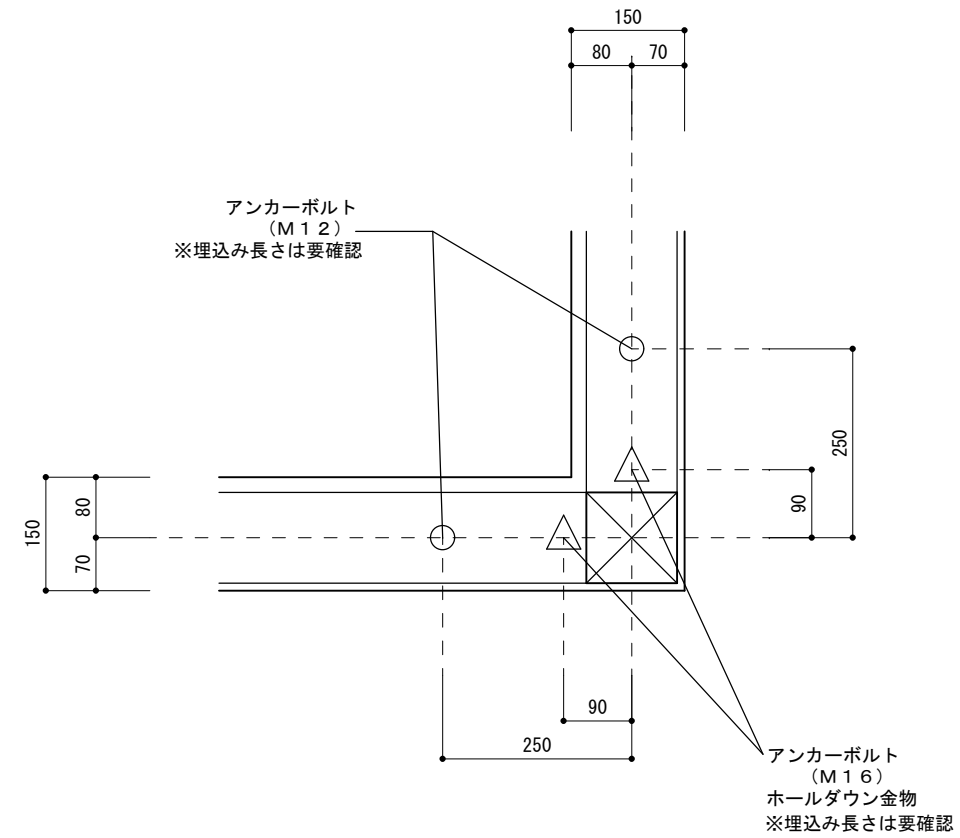
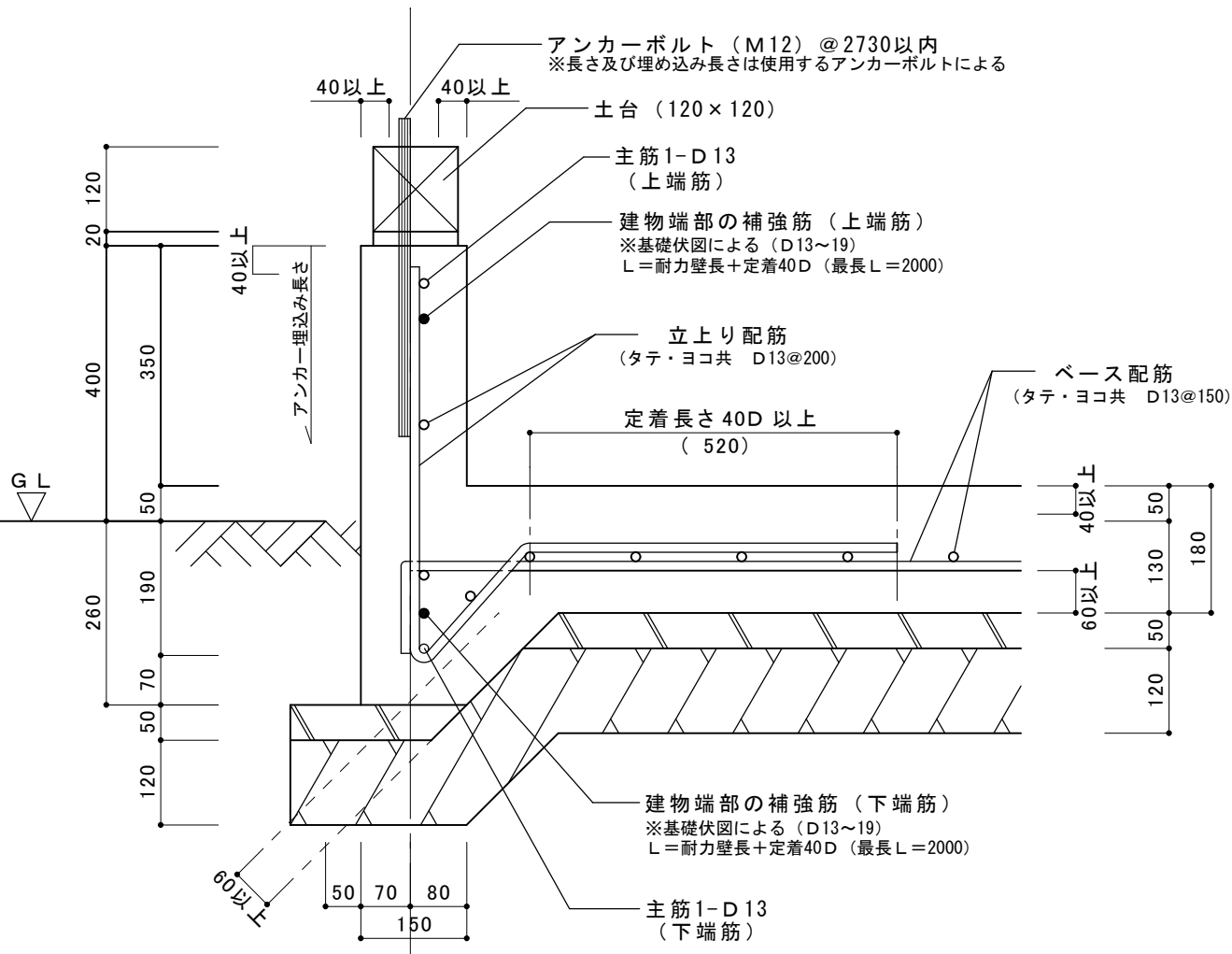
基礎伏図について特記なき場合に限り下記による。	
コンクリート強度	FC-21N/mm ²
FS1	SD295A D13 タテ、ヨコ共 @150S
地盤の調査方法 スウェーデン式サウディング試験 地盤の種類：粘性土 許容地耐力 $f_e = 20 \text{ kN/m}^2$ (長期)	
基礎の位置は、芯振分けとする。	
基礎断面は、 基礎断面詳細図を参照とする。	
内部人入口補強筋 D13	
※基礎配筋はスパン表による	
束は鋼製束とする。+ : 鋼製束	
防湿フィルム ア) 0.15	
○ M12アンカーボルト	
△ M16アンカーボルト	
アンカーボルト、他金物は Zマーク表示金物とする。	

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT	
〇〇様邸 新築工事	
TITLE	
基礎伏図	
DATE	
SCALE	No.
1/50	S-01



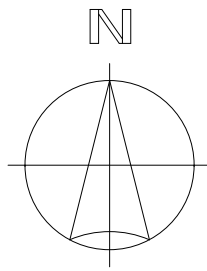
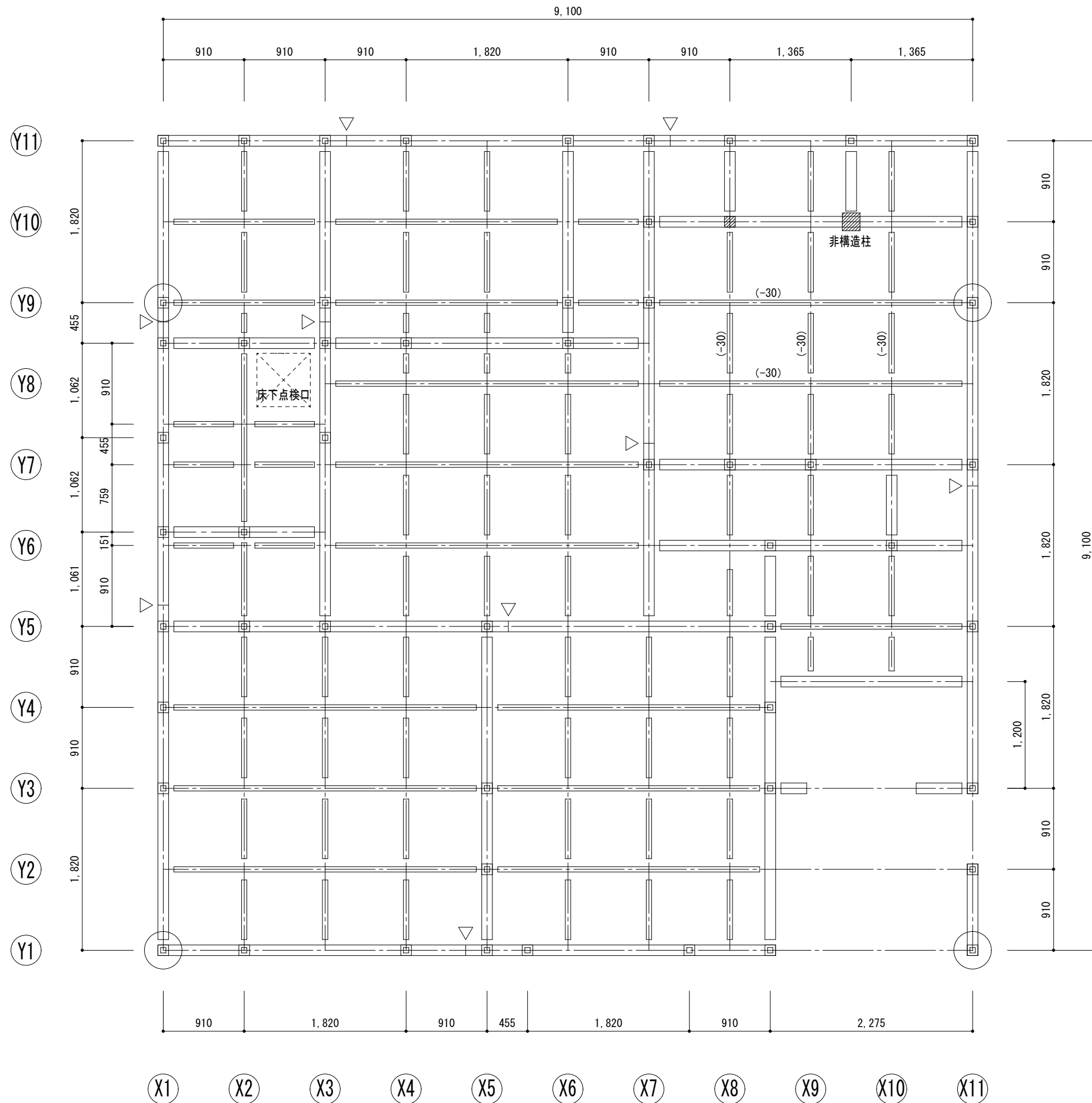
L = 耐力壁の長さ + 40d
(ただし最長 L = 2000)
※補強筋が片面の場合は、折り曲げて定着 (40d) をとること。

ホールダウン金物	
アンカー径	埋め込み長さ
M12	250mm以上
M16 (引張耐力 25kN以下)	360mm以上
M16 (引張耐力 25kN超35.5kN以下)	510mm以上
※フィストアンカーボルトを使用する場合のみ埋め込み長さ280mm以上	
※基礎配筋はスパン表による	

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT	
〇〇様邸 新築工事	
TITLE	
基礎配筋断面図②	
DATE	
SCALE	No.
1/10	S-03



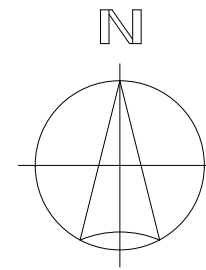
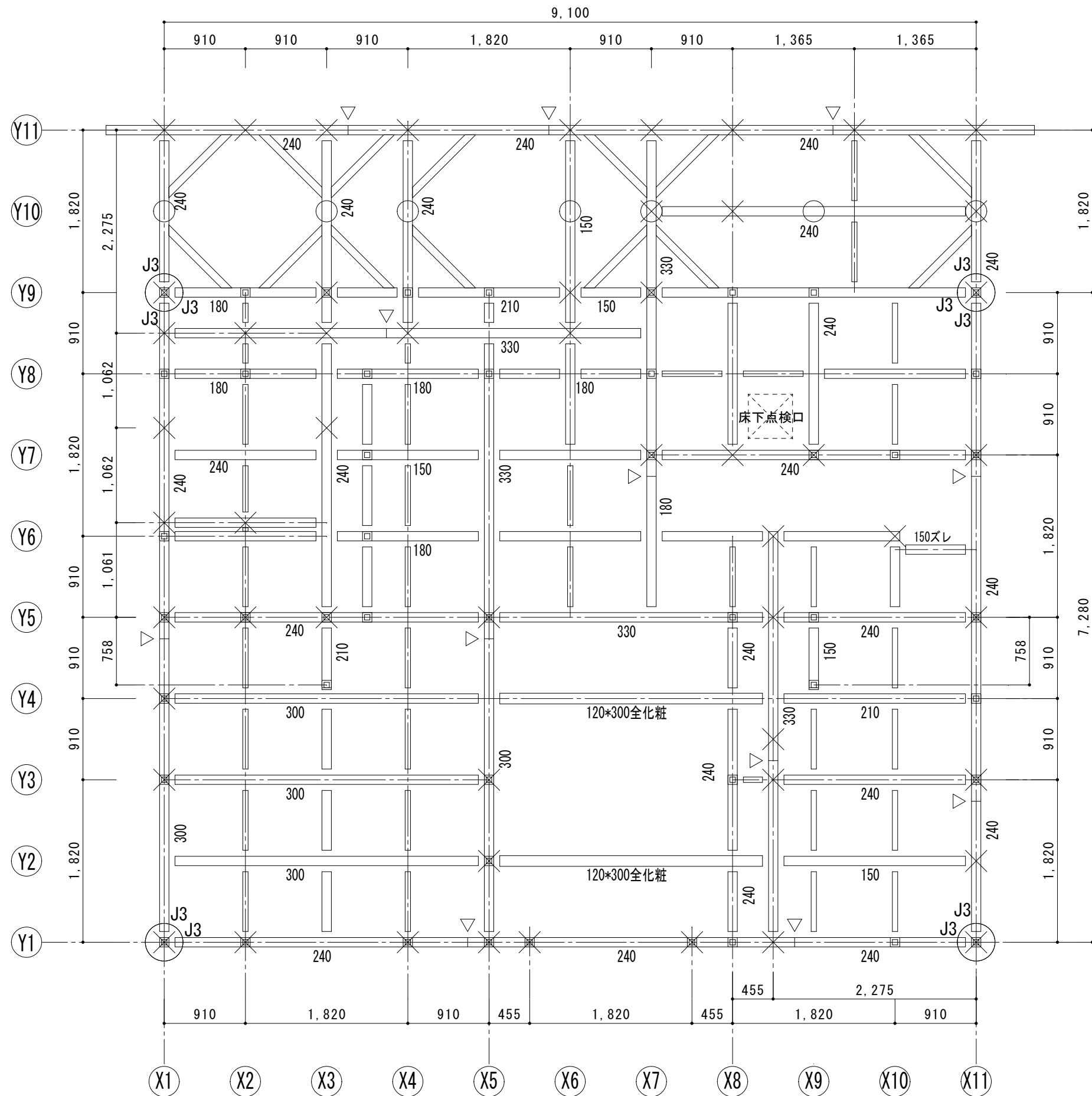
凡例	
	土台
	大引 (括弧付き数字は配置高さ)
	継手
	1階柱
	通し柱 (1~2階)
	化粧柱
金物はZマーク表示金物とする。 筋交い金物はZマーク (BP-2) 同等認定金物を使用。	
部材寸法	
土台 : 120×120	
大引 : 105×105	
通し柱・隅柱 : 120×120	
管柱 : 105×105	
※部材寸法はスパン表による	

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
 建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT	
○○様邸 新築工事	
TITLE	
1階床伏図	
DATE	
SCALE	No.
1/50	S-04



凡例	
	梁・桁 (寸法は幅105のものは梁せいのみ表示)
	継手
	火打梁
	上階柱
	通し柱 (1~2階)
	下階柱
	小屋束

横架材接合部	
T1	腰掛け蟻+短ざく金物
J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
J3	(通し柱)大入れほぞ差し+羽子板ボルト

※接合部記号表記の無い仕口の仕様はJ1、継手の仕様はT1

金物はZマーク表示金物とする。
筋交い金物はZマーク (BP-2) 同等認定金物を使用。

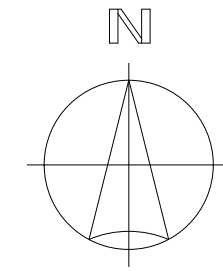
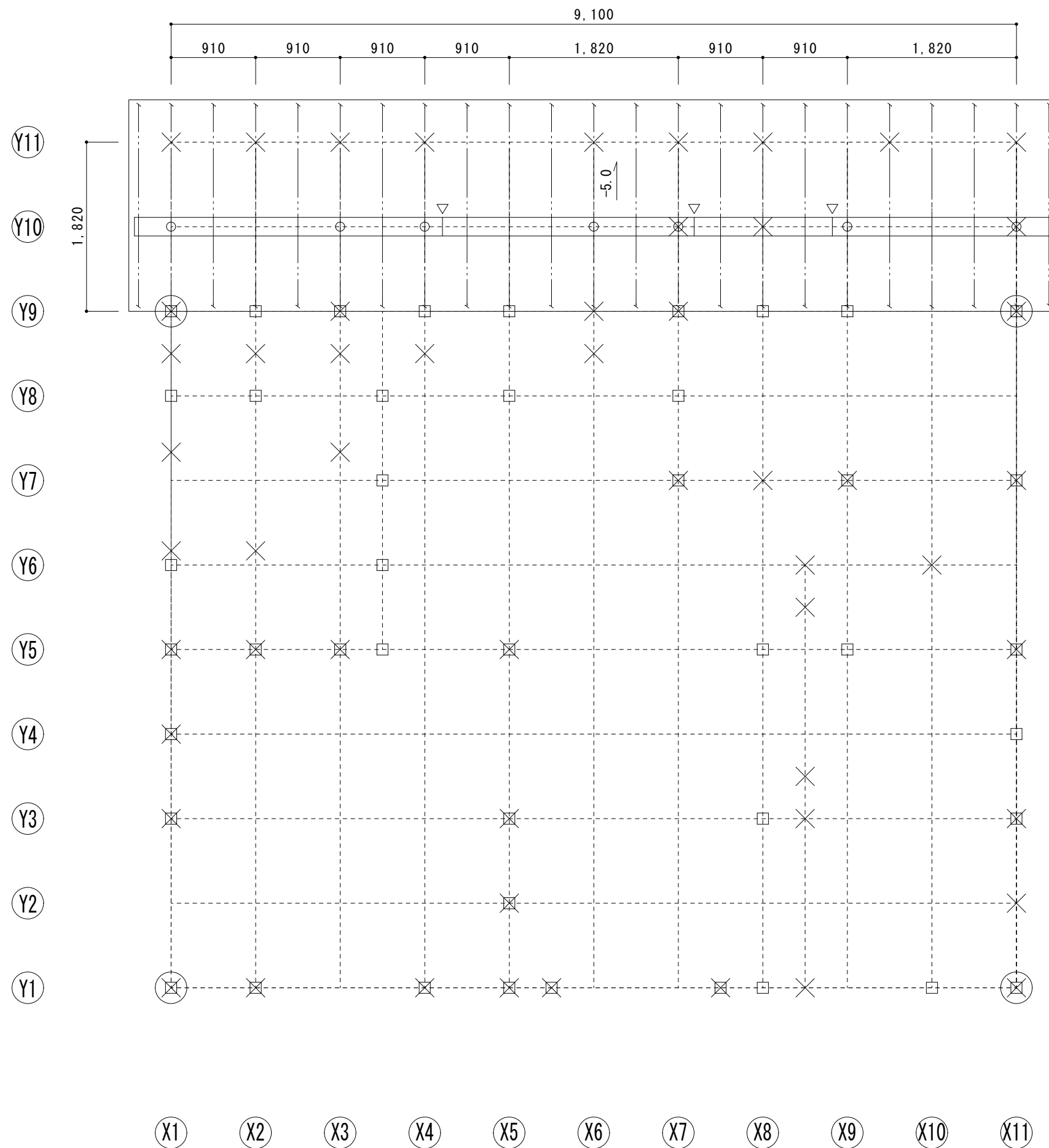
部材寸法	
通し柱・隅柱	: 120×120
管柱	: 105×105
甲乙梁	: 105×105
横架材省略寸法	: 105×105
※部材寸法はスパン表による	

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT	
○○様邸 新築工事	
TITLE	
1階小屋・2階床伏図	
DATE	
SCALE	No.
1/50	S-05



凡例

	棟木/母屋/登り梁 (寸法は幅105梁せいのものは梁せいのみ表示)
	継手
	垂木
	上階柱
	通し柱 (1~2階)
	下階柱
	小屋束

横架材接合部

T1	腰掛け蟻+短ざく金物
----	------------

※接合部記号表記の無い継手の仕様はT1

金物はZマーク表示金物とする。

部材寸法

通し柱・隅柱	: 120×120
管柱	: 105×105
母屋	: 105×105
垂木	: 45×54
横架材省略寸法	: 105×105

※部材寸法はスパン表による

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT

〇〇様邸 新築工事

TITLE

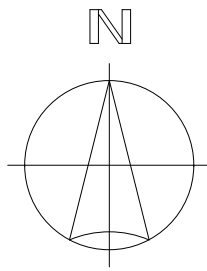
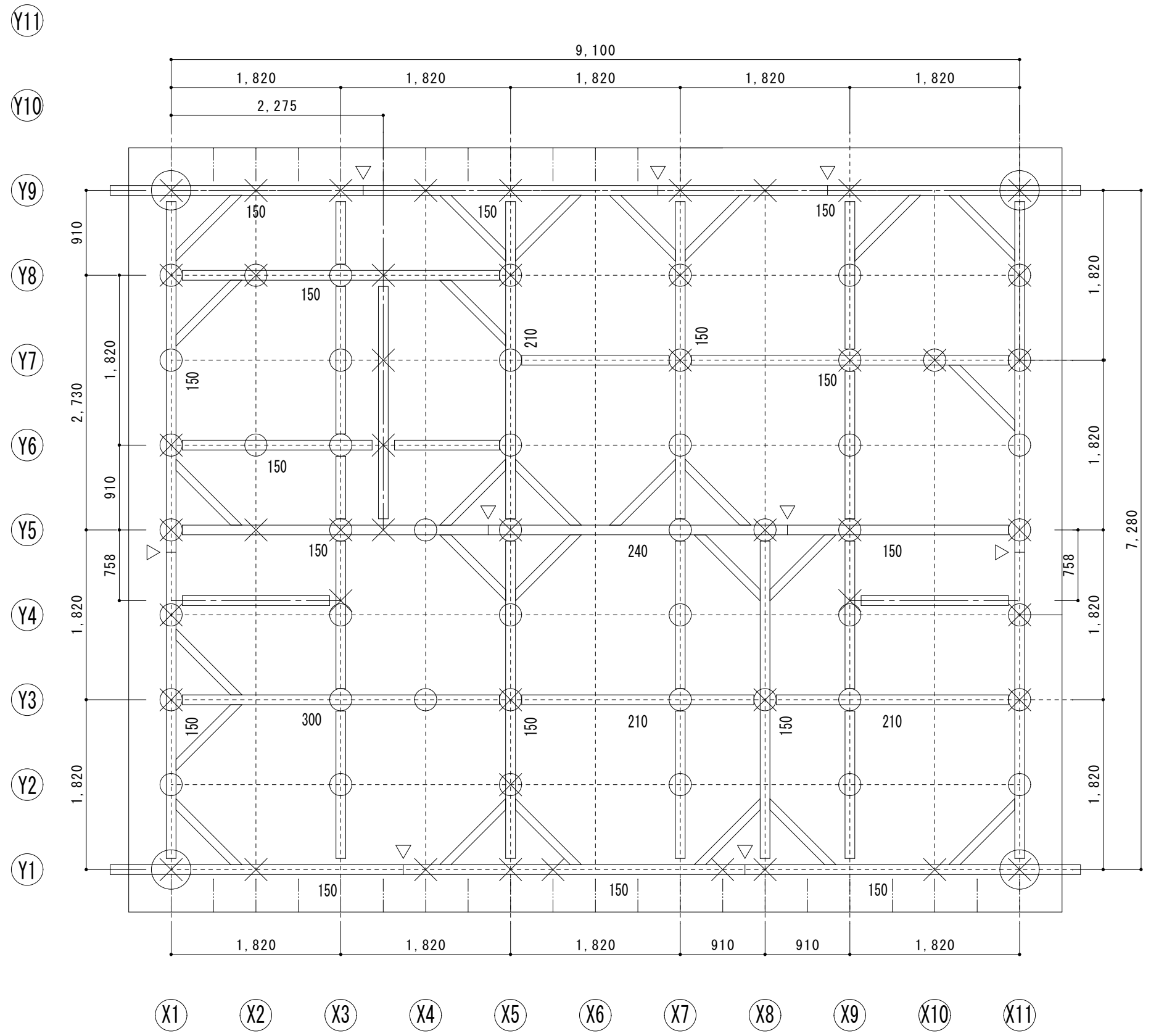
1階母屋伏図

DATE

SCALE

1/50

No. S-06



凡例	
	梁・桁 (寸法は幅105のものは梁せいのみ表示)
	継手
	火打梁
	垂木
	上階柱
	通し柱 (1~2階)
	下階柱
	小屋束

横架材接合部	
T1	腰掛け蟻+短ざく金物
J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
※接合部記号表記の無い仕口の仕様はJ1、継手の仕様はT1	
金物はZマーク表示金物とする。	

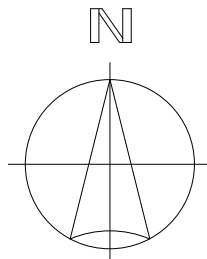
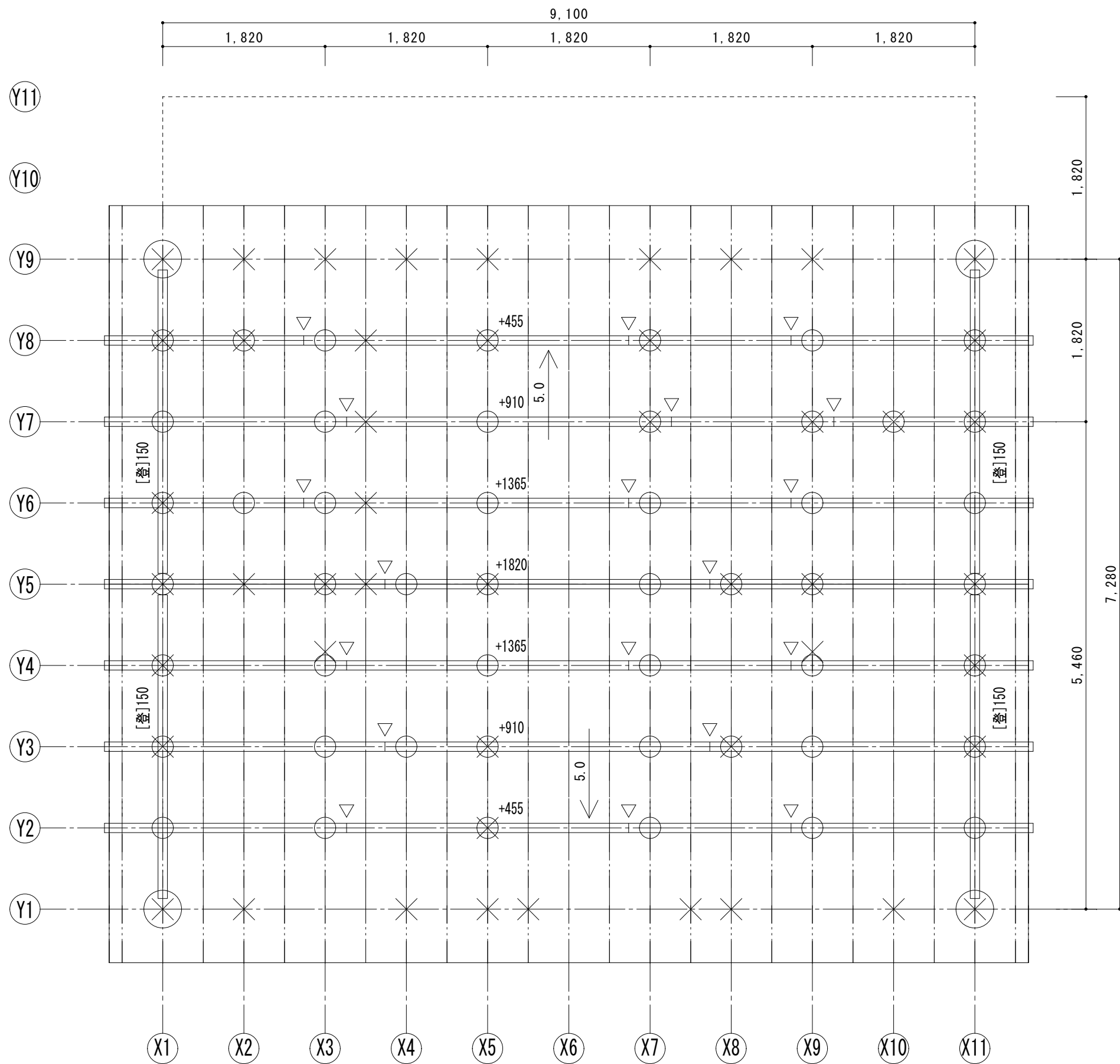
部材寸法	
通し柱・隅柱：120×120	
管柱：105×105	
桁：105×105	
横架材省略寸法：105×105	
※部材寸法はスパン表による	

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
 建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT	
○○様邸 新築工事	
TITLE	
2階小屋伏図	
DATE	
SCALE	No.
1/50	S-07



凡例	
	棟木/母屋/登り梁 (寸法は幅105のものは 梁せいのみ表示)
	継手
	垂木
	上階柱
	通し柱 (1~2階)
	下階柱
	小屋束
横架材接合部	
T1	腰掛け蟻+短ざく金物
J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
※接合部記号表記の無い 仕口の仕様はJ1、継手の仕様はT1	
金物はZマーク表示金物とする。	
部材寸法	
通し柱・隅柱：120×120	
管柱：105×105	
桁：105×105	
母屋：105×105	
垂木：45×54	
横架材省略寸法：105×105	
※部材寸法はスパン表による	

株式会社 ●●建設

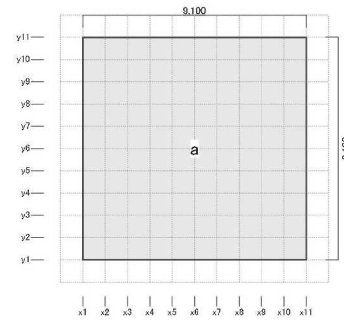
一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

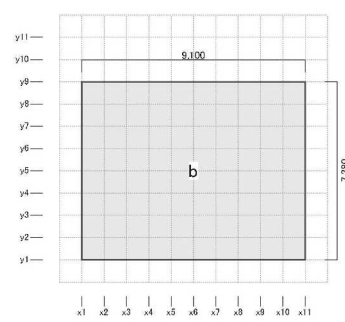
PROJECT	
〇〇様邸 新築工事	
TITLE	
2階小屋伏図	
DATE	
SCALE	No.
1/50	S-08

1階建築基準法床面積 A1	78.67 m ²	地盤割増 B1	1.0	1階 階高	2940 mm
2階建築基準法床面積 A2	56.32 m ²	建築基準法必要壁量割増B2	1.00	2階 階高	2804 mm
1階性能表示床面積 S1	82.81 m ²	地震係数 Z	1	1階横架材間内法寸法	2835 mm
2階性能表示床面積 S2	66.25 m ²	風力区分 Vo (m/s)	32	2階横架材間内法寸法	2735 mm
Rf = S2/S1	0.80	風力係数	0.60	見付面積計算用 壁厚さ	100 mm
K1 = 0.4+0.6 × Rf	0.88	多雪地域区分	一般	見付面積計算用 屋根厚さ	300 mm
K2 = 1.3+0.07/Rf	1.39	屋根重さ	軽い	耐震等級 等級3	耐風等級 等級2

■1階床面積根拠図



■2階床面積根拠図



■1階ブロック別床面積計算表

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (m ²)	備考
a	9.100	9.100	82.8100000	

■2階ブロック別床面積計算表

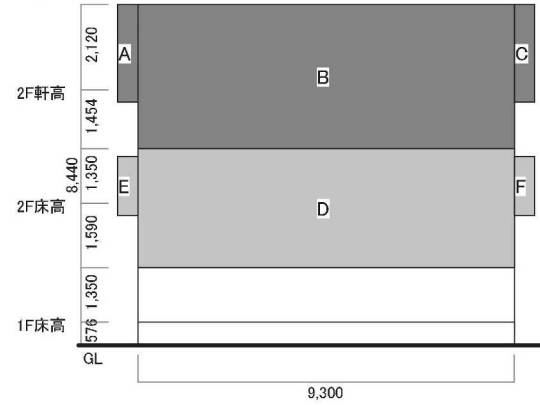
区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (m ²)	備考
b	7.280	9.100	66.2480000	

- → 跳ね出しバルコニー範囲(跳ね出し部分面積×0.4)
- ◇ → 小屋裏収納等範囲(小屋裏収納等の水平投影面積×1.4÷2.1)
- ◆ → 小屋裏収納等重複範囲(小屋裏収納等の水平投影面積×1.4÷2.1×2)
- ▲ → 三角形区画

■壁量計算用床面積

階	部位	計算式	壁量計算用床面積 (m ²)
2	床	b	66.25
	小屋裏収納等		0.00
	合計	2階床)+(2階小屋裏収納等)×1.4÷2.1	66.25
1	床(オーバーハング含む)	a	82.81
	跳ね出しバルコニー		0.00
	小屋裏収納等		0.00
	合計	1階床)+(跳ね出しバルコニー)×0.4+(小屋裏収納等)×1.4÷2.1	82.81

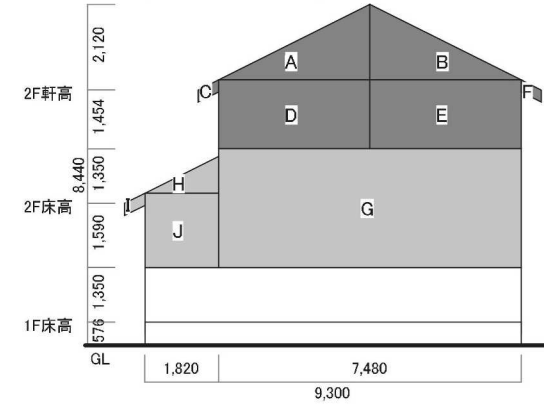
■X方向見付面積根拠図(Y方向壁量計算用)



■X方向見付面積計算表(Y方向壁量計算用)

区画	計算式	面積 (m ²)
A	0.500 × 2.420	1.2100000
B	9.300 × 3.574	33.2382000
C	0.500 × 2.420	1.2100000
D	9.300 × 2.940	27.3420000
E	0.500 × 1.460	0.7300000
F	0.500 × 1.460	0.7300000

■Y方向見付面積根拠図(X方向壁量計算用)



■Y方向見付面積計算表(X方向壁量計算用)

区画	計算式	面積 (m ²)
A	3.740 × 1.870 ÷ 2	3.4969000
B	3.740 × 1.870 ÷ 2	3.4969000
C	0.500 × 0.300	0.1500000
D	3.740 × 1.704	6.3729600
E	3.740 × 1.704	6.3729600
F	0.500 × 0.300	0.1500000
G	7.480 × 2.940	21.9912000
H	1.820 × 0.910 ÷ 2	0.8281000
I	0.500 × 0.300	0.1500000
J	1.820 × 1.840	3.3488000

■X方向見付面積計算結果(Y方向壁量計算用)

階	計算式	見付面積 (m ²)
2階	A+B+C	35.66
1階	A+B+C+D+E+F	64.46

■Y方向見付面積計算結果(X方向壁量計算用)

階	計算式	見付面積 (m ²)
2階	A+B+C+D+E+F	20.04
1階	A+B+C+D+E+F+G+H+I+J	46.36

□ 摘要

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT

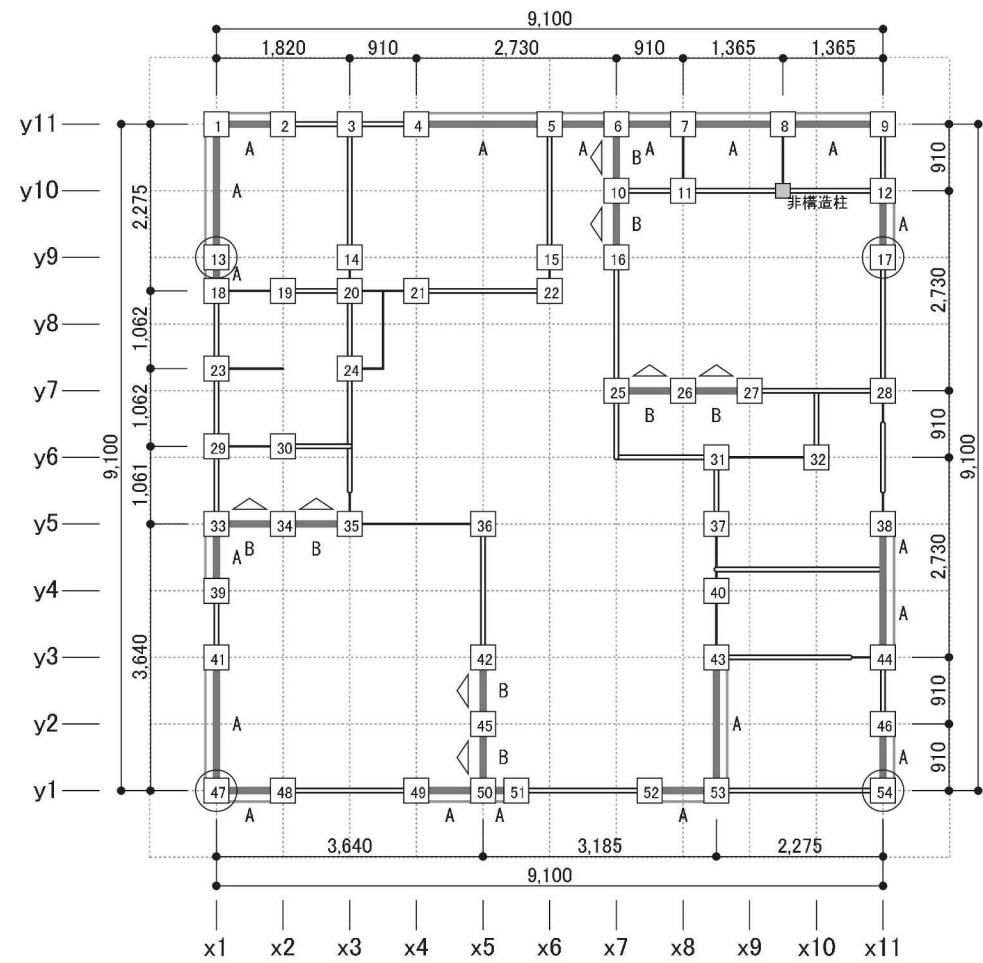
〇〇様邸 新築工事

TITLE
床面積・見付面積
計算表

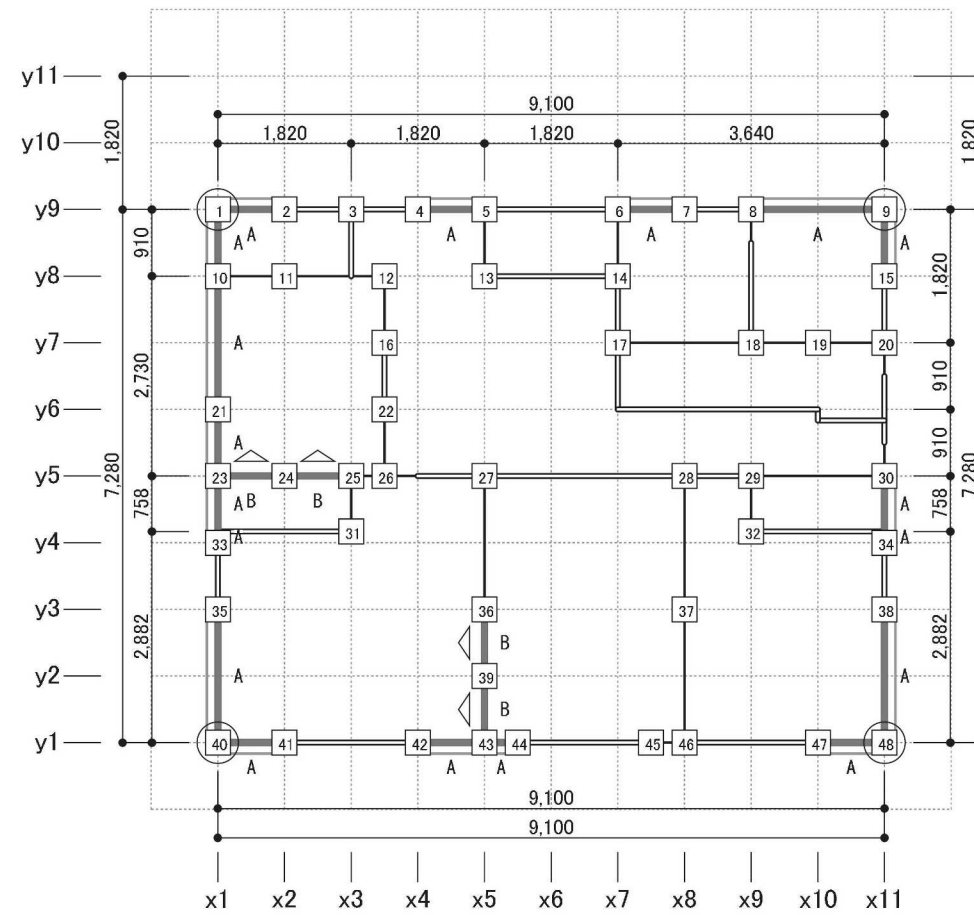
DATE

SCALE
N. S. S-09

■1階壁量計算平面図



■2階壁量計算平面図



凡例

— 一般壁	開口部	柱頭	柱脚	----- 準耐力壁
▬ 面材耐力壁	筋かいダブル	筋かいシングル	A,B,...,a,b,... 壁記号 (大文字は耐力壁、小文字は準耐力壁)	
▨ パルコニー	小屋裏収納等	柱	⊙ 通し柱	

※アルファベットに数字が付いている記号は、同位置の壁倍率合計5倍までの打ち切りにより有効壁倍率が低減されている面を示す。
(例: 記号「a1」は「a」の仕様に対して有効壁倍率が低減されている面)

■耐力壁・準耐力壁仕様一覧

壁記号	材種名	基準倍率	係数	開口有無	開口高さ (cm)	取付高さ (cm)	下地貼材高さ (cm)	垂壁高さ (cm)	腰壁高さ (cm)	下地貼材実高さ (cm)	横架材間内法寸法 (cm)	有効壁倍率	最低厚さ (mm)	規格	釘打ちの方法		受材仕様		
															種類	間隔 (mm)	寸法 (mm)	釘種類	釘間隔 (mm)
A	構造用合板(大壁)2.5倍	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.50	5.0	JAS/H15告示第233号	N50	150以下	-	-	-
B	筋かい(45×90)(ダブル)	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-	

□ 摘要

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT

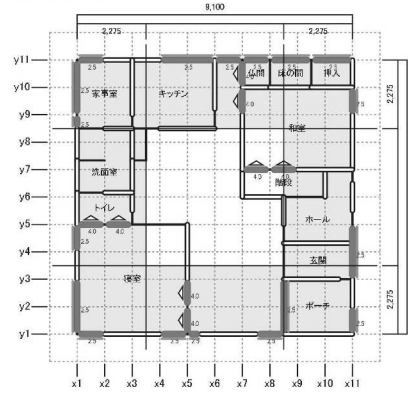
〇〇様邸 新築工事

TITLE
壁量計算表
兼 耐力壁図

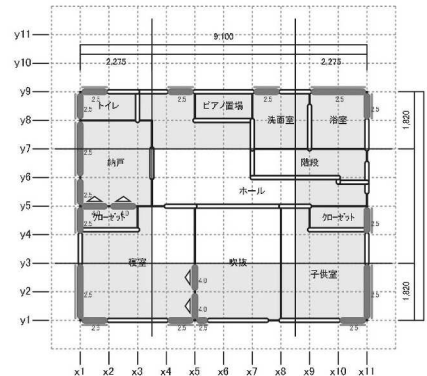
DATE

SCALE
N. S. S-10

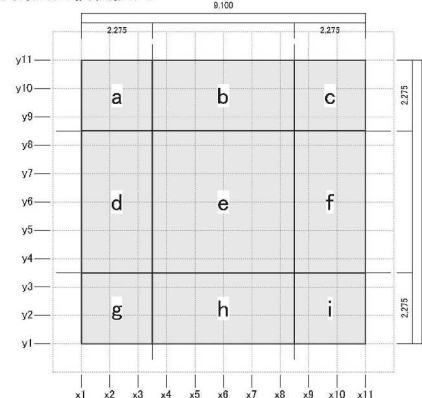
■1階四分画法平面図



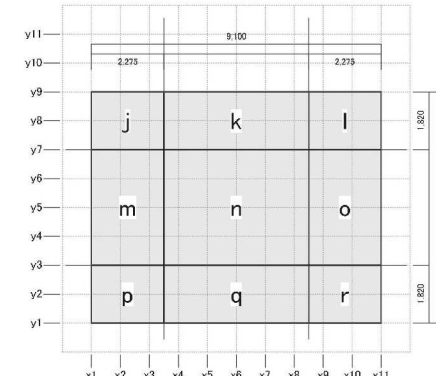
■2階四分画法平面図



■1階四分画法面積根拠図



■2階四分画法面積根拠図



凡例 一般壁 開口部 面材耐力壁 筋かいダブル 柱頭 柱脚 筋かいシングル
 1/4範囲 パルコニー オーバーハング 小屋裏収納等

凡例 床面積区画 オーバーハング パルコニー a b c …… 床面積区画名 Ba Bb Bc …… 床面積区画名(パルコニー)

■ブロック別床面積計算表

[1階]				[2階]			
区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)
a	2.275	2.275	5.1756250	j	1.820	2.275	4.1405000
b	2.275	4.550	10.3512500	k	1.820	4.550	8.2810000
c	2.275	2.275	5.1756250	l	1.820	2.275	4.1405000
d	4.550	2.275	10.3512500	m	3.640	2.275	8.2810000
e	4.550	4.550	20.7025000	n	3.640	4.550	16.5620000
f	4.550	2.275	10.3512500	o	3.640	2.275	8.2810000
g	2.275	2.275	5.1756250	p	1.820	2.275	4.1405000
h	2.275	4.550	10.3512500	q	1.820	4.550	8.2810000
i	2.275	2.275	5.1756250	r	1.820	2.275	4.1405000

※備考: □ → 跳ね出しパルコニー区画 ◇ → 小屋裏収納等区画 ▲ → 三角形区画

■四分割対象面積

階	方向	位置	計算式	面積 (㎡)
2	X	上	(j+k+i)	16.57
		下	(p+q+r)	16.57
	Y	左	(j+m+p)	16.57
		右	(l+o+r)	16.57
1	X	上	(a+b+c)	20.71
		下	(g+h+i)	20.71
	Y	左	(a+d+g)	20.71
		右	(c+f+i)	20.71

■判定

階	方向	位置	A			B			判定
			有効面積 (㎡)	壁量係数 (cm/㎡)	地盤割増	必要壁量 (cm)	存在壁量 (cm)	壁量充足率	
2	X	上	16.57	15	1.0	248.55	1137.50	4.57	○
		下	16.57	15	1.0	248.55	796.25	3.20	○
	Y	左	16.57	15	1.0	248.55	1592.50	6.40	○
		右	16.57	15	1.0	248.55	910.00	3.66	○
1	X	上	20.71	29	1.0	600.59	1820.00	3.03	○
		下	20.71	29	1.0	600.59	796.25	1.32	○
	Y	左	20.71	29	1.0	600.59	1251.25	2.08	○
		右	20.71	29	1.0	600.59	1365.00	2.27	○

※壁量係数欄の*は2階が乗らない領域のため平屋の係数を用いたことを表す。

四分画法判定
適合

■1階X方向上の存在壁量(cm)

上	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
y11	227.50	455.00	227.50	227.50	341.25	341.25								1820.00
上	壁量合計													1820.00

■1階X方向下の存在壁量(cm)

下	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
y1	227.50	227.50	113.75	227.50										796.25
下	壁量合計													796.25

■1階Y方向左の存在壁量(cm)

左	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
x1	455.00	113.75	227.50	455.00										1251.25
左	壁量合計													1251.25

■1階Y方向右の存在壁量(cm)

右	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
x8	455.00													455.00
x11	227.50	455.00	227.50											910.00
右	壁量合計													1365.00

・各通りに存在する耐力壁(筋かい・面材)毎の存在壁量を壁1、壁2、…と表示しています。
 (存在壁量 = 耐力壁の壁倍率 × 長さ とします)

■2階X方向上の存在壁量(cm)

上	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
y9	227.50	227.50	227.50	455.00										1137.50
上	壁量合計													1137.50

■2階X方向下の存在壁量(cm)

下	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
y1	227.50	227.50	113.75	227.50										796.25
下	壁量合計													796.25

■2階Y方向左の存在壁量(cm)

左	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
x1	227.50	455.00	227.50	227.50	455.00									1592.50
左	壁量合計													1592.50

■2階Y方向右の存在壁量(cm)

右	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
x1	227.50	227.50	455.00											910.00
右	壁量合計													910.00

□ 摘要

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
 建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT

〇〇様邸 新築工事

TITLE

四分画法

DATE

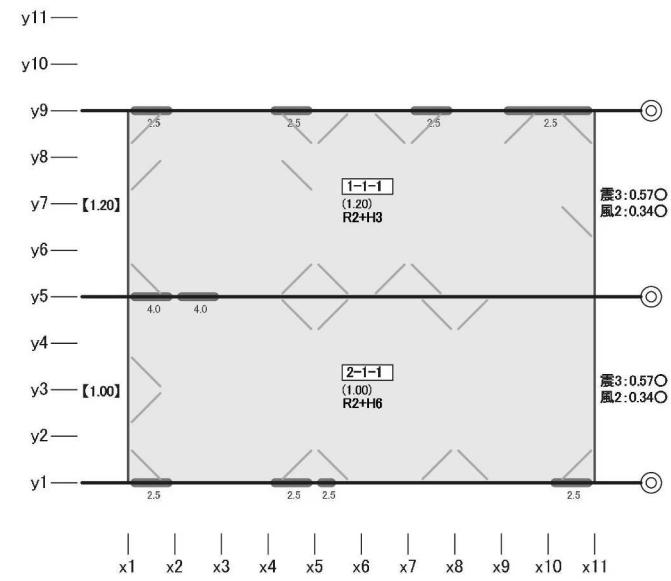
SCALE

N. S.

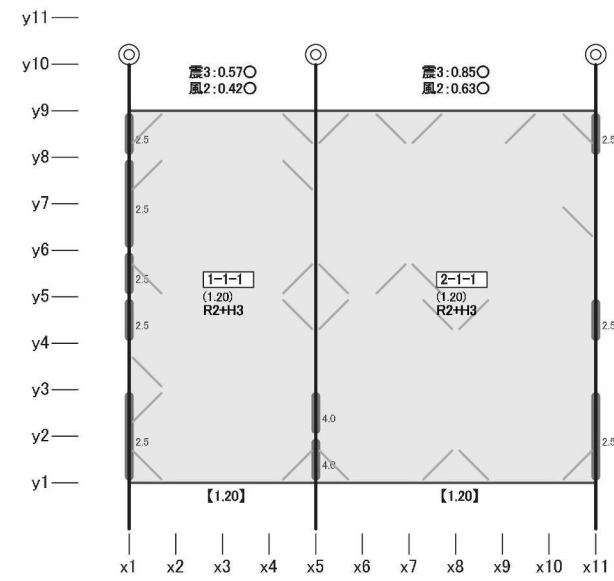
No.

S-12

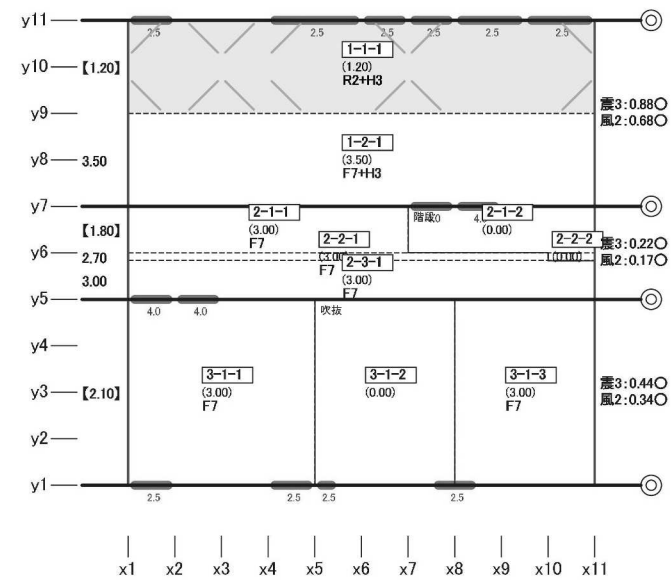
■2階X方向



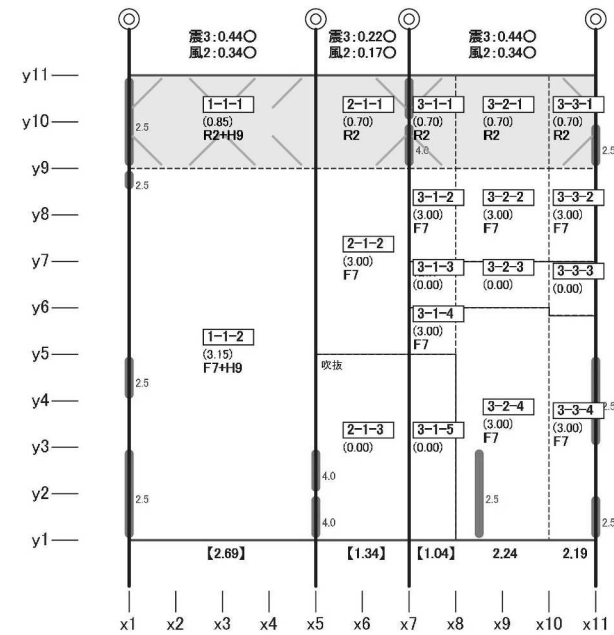
■2階Y方向



■1階X方向



■1階Y方向



凡例

- ◎ 耐力壁線 ◎ 耐力壁線 ○ 耐力壁
- 耐力壁線 ○ 耐力壁線 ○ 耐力壁
- 小区画境界 --- 耐力壁
- 準耐力壁
- 火打ち
- パルコニー
- 小屋裏収納等
- 考慮除外区画
- 屋根
- 1.88 平行小区画の平均床倍率
- 【1.20】 (【】付きは決定小区画)

□ 摘要

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△設計事務所 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△設計事務所 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT

〇〇様邸 新築工事

TITLE

床倍率計算表

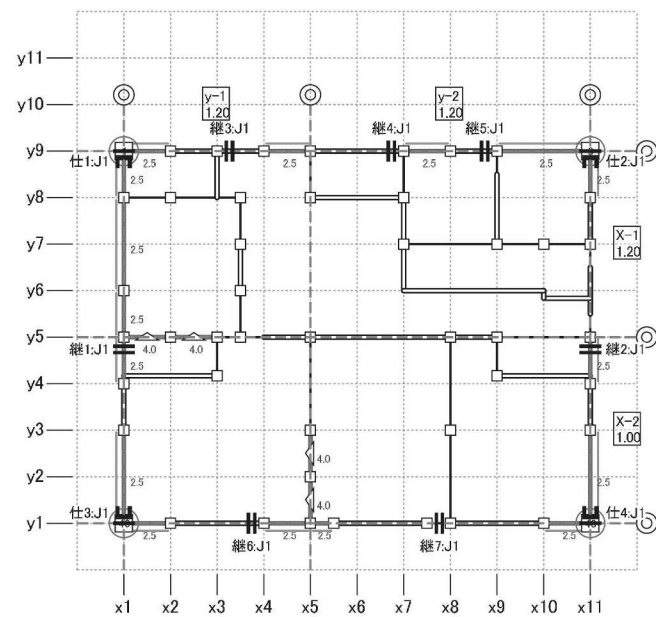
DATE

SCALE

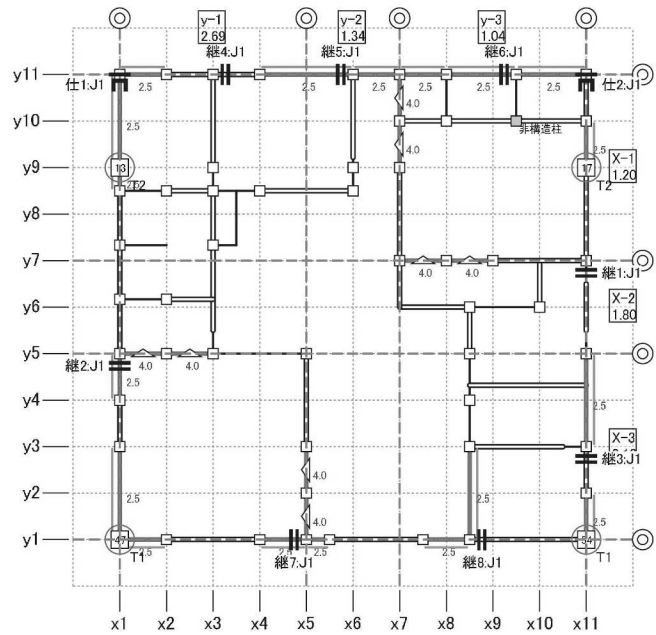
N. S.

S-13

■2階接合部チェック平面図



■1階接合部チェック平面図



凡例

— 一般壁	— 開口部	□ 柱	○ 通し柱	継手	┌ 仕口
— 面材耐力壁	△ 筋かいダブル	柱頭	柱脚	筋かいシングル	T1, T2, T3 通し柱と胴差の接合部仕様
---○ 耐力壁線	---○ 耐力壁線	X-1 上: 床区画番号	2.50 下: 平均存在床倍率	○ オーバーハングJ1, J2 外周横架材(継手・仕口)の接合部仕様	

■筋かい接合部金物

筋かい種類	接合部記号	金物名(同等以上)
筋かい(45×90)	SS6	筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等

・設計者が任意に追加、編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

■胴差と通し柱の接合部チェック

1階柱番号	2階柱番号	胴差方向	接合部記号	接合部仕様(同等以上)
13	1	上-下	T2	かたぎ大入れ短ほぞ差し+(羽子板ボルト又は短冊金物)
17	9	上-下	T2	かたぎ大入れ短ほぞ差し+(羽子板ボルト又は短冊金物)
47	40	上-右	T1	かたぎ大入れ短ほぞ差し+(羽子板ボルト又はかね折り金物)
54	48	左-上	T1	かたぎ大入れ短ほぞ差し+(羽子板ボルト又はかね折り金物)

・設計者が任意に編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

■外周横架材接合部チェック

階	種別	番号	接合方向	部位ハターン	区画番号	平均存在床倍率	耐力壁線間距離	必要接合部倍率	接合部記号	接合部倍率
1	継手	1	上下	④	X-2	1.80	1.82	0.70	J1	1.90
1	継手	2	上下	④	X-3	2.10	3.64	0.70	J1	1.90
1	継手	3	上下	④	X-3	2.10	3.64	0.70	J1	1.90
1	継手	4	左右	④	Y-1	2.69	3.64	0.70	J1	1.90
1	継手	5	左右	④	Y-2	1.34	1.82	0.70	J1	1.90
1	継手	6	左右	④	Y-3	1.04	3.64	0.70	J1	1.90
1	継手	7	左右	④	Y-1	2.69	3.64	0.70	J1	1.90
1	継手	8	左右	④	Y-3	1.04	3.64	0.70	J1	1.90
1	仕口	1	上下	④	X-1	1.20	3.64	0.70	J1	1.90
1	仕口	2	上下	④	X-1	1.20	3.64	0.70	J1	1.90
2	継手	1	上下	④	X-2	1.00	3.64	0.70	J1	1.90
2	継手	2	上下	④	X-2	1.00	3.64	0.70	J1	1.90
2	継手	3	左右	④	Y-1	1.20	3.64	0.70	J1	1.90
2	継手	4	左右	③	Y-2	1.20	5.46	1.22	J1	1.90
2	継手	5	左右	③	Y-2	1.20	5.46	1.22	J1	1.90
2	継手	6	左右	④	Y-1	1.20	3.64	0.70	J1	1.90
2	継手	7	左右	③	Y-2	1.20	5.46	1.22	J1	1.90
2	仕口	1	上下	④	X-1	1.20	3.64	0.70	J1	1.90
2	仕口	2	上下	④	X-1	1.20	3.64	0.70	J1	1.90
2	仕口	3	上下	④	X-2	1.00	3.64	0.70	J1	1.90
2	仕口	4	上下	④	X-2	1.00	3.64	0.70	J1	1.90

・設計者が任意に編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

■接合部記号と仕様の対応

接合部記号	接合部仕様(同等以上)
J1	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト又は短冊金物)
J2	(腰掛け蟻又は大入れ蟻掛け)+(羽子板ボルト×2又は短冊金物×2)

□ 摘要

金物はZマーク表示金物とする。

株式会社 ●●建設

一級建築士事務所 △△県知事登録 第▲▲▲▲号
建設業許可 △△県知事登録 第▲▲▲▲号

一級建築士 大臣登録第▲▲▲▲号 氏名 印

PROJECT

〇〇様邸 新築工事

TITLE

接合部チェック

DATE

SCALE

N. S. S-16

地盤調査報告書

株式会社△△△△

〇〇様邸

※実際にご申請される際は実態に則した適切な調査報告書を添付してください。

株式会社●●建設